

財務諸表に対する注記

2023年4月1日から2024年3月31日まで

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物及び什器備品

定額法によっている。

② ソフトウェア

定額法によっている。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金は、従業員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込み額のうち、当事業年度の負担額を計上している。

② 退職給付引当金は、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------|-----------|---------|-------|-----------|
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当預金 | 1,248,250 | 143,500 | 0 | 1,391,750 |
| 合 計 | 1,248,250 | 143,500 | 0 | 1,391,750 |

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財 産からの充当額) | (うち一般正味財 産からの充当額) | (うち負債に対応 する額) |
|----------|-----------|----------------------|----------------------|------------------|
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当預金 | 1,391,750 | — | — | 1,391,750 |
| 合 計 | 1,391,750 | — | — | 1,391,750 |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|------------|------------|-----------|
| 建 物 | 1,553,925 | 1,227,273 | 326,652 |
| 什器備品 | 2,262,031 | 2,150,536 | 111,495 |
| リース資産 | 16,464,780 | 15,722,280 | 742,500 |
| ソフトウェア | 6,646,417 | 5,570,067 | 1,076,350 |
| 合 計 | 26,927,153 | 24,670,156 | 2,256,997 |

5. 重要な後発事象

重要な後発事象は、ありません。